

よこすか E C O 通信



第24号(平成29年3月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議



水とエコ



私たちの生活に欠かすことができない水、蛇口をひねれば当たり前のように水がでてきます。横須賀市民ひとりが一日に使う水の量は、約24OLになります。

一般的な浴槽を満杯にすると約25OLになるので、毎日ひとりが、おおむね浴槽を満杯にした水を使用していることになります。

この水が、水源となる川から私たちのもとに飲み水として届くまでには、ポンプを使って浄水場や貯水池など様々な工程の施設へ送るため、エネルギーをたくさん使っています。

また、飲み水だけではなく汚れた水（下水）も、きれいな状態にしてから川や海に戻します。その際、様々な施設を通過するため、多くのエネルギーが必要となります。

水やエネルギーは、限りのある大切な資源です。水を大切に思い、「節水」を心がけることはとても大切なことです。

歯をみがく時や洗い物をする時に、水を出しっぱなしにしない等、私たちの小さな行動の積み重ねが、限られた資源を守ることに繋がります。

そして、「節水」は「エコ」なだけではなく、家計にもやさしく「節約」にもなります。

水道の蛇口をひねる時に少しでも考えてみてください。



裏のページに、横須賀市自然・人文博物館の企画展示として、横須賀で初めて水道をひいた、ヴェルニーが作った学校を紹介しています。
また、本市の水道施設の見学他を紹介しています。



春の環境学習講座などのお知らせ

横須賀市自然・人文博物館

トピックス展示「桜～横須賀市の木とキになる害虫～」

日 時 3月18日(土)～4月16日(日)
場 所 自然・人文博物館 本館常設展示室
時 間 9:00～17:00

企画展示「横須賀製鉄所の同窓生」

日 時 3月11日(土)～6月4日(日)

場 所 自然・人文博物館
本館特別展示室

観覧料 無料

内 容 製鉄所が作った学校は「こうじゃ 養舎」と呼ばれ、当時の日本で最高水準の教育が行われました。こうじゃ 養舎の人の写真や演習図面を展示します。

【展示解説】4月2日(日) 14:00～15:00

5月4日(木・祝) 14:00～15:00

本館特別展示室

申し込み不要

問合先 横須賀市自然・人文博物館
電話824-3688

横須賀市の水道、下水道の施設見学

対 象 横須賀市内の団体

見学時間 平日の9:00～16:00

問合先 逸見総合管理センター 電話822-3945
下町浄化センター 電話823-5821

東京都水の科学館

水の性質を利用した実験装置やショーで水の不思議を感じよう。

場 所 東京都江東区有明3-1-8

休館日 毎週月曜日(祝日にあたる日はその翌日)

開館時間 9:30～17:00
(最終入館時間は16:30)

入館料 無料

問合先 電話03(3526)2366



市民大学の自然科学の講座

横須賀市市民大学でも環境に関連する講座を予定しています。詳しくは生涯学習センターで発行する募集要領やまなびかんニュース・広報よこすか4月号・生涯学習センターのホームページ(3月下旬掲載予定)をご覧ください。

横須賀市地球温暖化対策地域協議会 「緑のカーテン作り方講習会」

日 時 5月13日(土) 14:00～15:30
場 所 ヴェルクよこすか(勤労福祉会館)6階第一会議室
内 容 「緑のカーテン」は、窓の外にネットなどを張り、ゴーヤなどのツル性の植物をはわせて室内を涼しくします。講師が「緑のカーテン」の作り方をわかりやすく説明します。参加者にはゴーヤの苗を差し上げます

定 員 先着90名

申 込 4月12日(水)～30日(日)

横須賀市コールセンターへ

電話 (822)2500

FAX (822)2539

問合先 横須賀市環境企画課 電話822-8524



みんなで里山に行こう



1. 講習会に参加して、新しい技術の習得と仲間づくり

○里山林手入れ講習会

沢山池の里山(長坂5丁目)で、大きな木を切って、その木で垣根や階段作り、コナラの林やキノコ作り(6/10、7/8、10/7、11/11、12/16、1/13 いずれも土曜日)【予定】

○田んぼづくり講習会

どろんこになりながら、田んぼでお米を作り、生き物観察しながら汗かき作業(5/27、6/4、7/1、7/22、9/9、9/23)【予定】

2. 里山の中で、身体を動かしたり、物作りに挑戦

○太極拳やアロマヒーリング(5月28日(日))

○里山にあるもので、門松やリースづくり(11月予定)

○自然観察会(来年3月予定)

詳しくは里山ホームページ

<http://yokosuka-satoyama.jp/index.html>

又は、[広報よこすか](#)でご確認ください。

問合先 横須賀市自然環境共生課

電話822-9749、FAX821-1523

E-mail sato-eco@city.yokosuka.kanagawa.jp

市街化区域内における 樹林地の保全支援制度

横須賀市では、身近なみどりを保全することを目的に、市街化区域内にある樹林地の土地所有者へ保全支援金をお支払する制度があります。樹林地の面積が500㎡以上あり、地目が山林又は雑種地の場合は、本制度の対象となる可能性があります。詳しくは自然環境共生課までお問い合わせください。

問合先 横須賀市自然環境共生課

電話822-9553、FAX821-1523

E-mail ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

横須賀かんきょうフォーラム2017

ステージイベント

1月28日（土）にヨコスカ・ベイサイド・ポケットで、「横須賀かんきょうフォーラム2017」を開催しました。午前の部では表彰式、午後の部では、久里浜小学校、すかっ子セミナーの皆さんによる環境活動のステージ発表、横須賀市地球温暖化対策地域協議会の高橋正明氏による講演も行いました。

- ①表彰式（11:00～12:00）
夏休みエコチャレンジ
環境ポスターコンクール



- ②発表！私たちのエコ活動（13:30～14:20）
市内の環境活動の発表。
・久里浜小学校 ・すかっ子セミナー
・横須賀市地球温暖化対策地域協議会



- ③ ～見て、考えて、行動しよう！私たちの未来のために～
地球温暖化、エネルギー、資源循環、生物多様性の4つの
テーマからなるビデオを上映して、神奈川県の実情の現状を知り
私たちに何ができるのかを考える機会としました。

フロアでは

環境活動の展示や「環境ポスターコンクール」入賞者の作品展示、環境クイズラリー、スカリンへの環境メッセージを書くコーナーを設けました。



スカリンへ環境メッセージ

久里浜小学校、野比東小学校、津久井小学校や活動団体の皆さんの環境活動の取り組みの成果を展示しました。



みんなからの声

- ・水をだしっぱなしにしない
- ・ゴミはわけてだします
- ・自然を大切にする！
- ・生ごみは必ず水を切ってだす
- ・テレビはつけっぱなしにしないなどなど。



寒い日が続きますが、3月初旬（平成29年は3月5日〔日〕）は「啓蟄（けいちつ）」といい、暦の上では虫たちが冬ごしをやめて活動を始める時期にあたります。では冬のあいだ、虫たちはどうやって過ごしていたのでしょうか。

① むき出しの体で耐える

葉や茎、枝や幹など、「そんなところで寒くないの？」と聞きたくなるような場所で、ジッと耐えている虫たちを見かけたことはありませんか？こうした虫たちは、茂みの中や北向き斜面など、日光があまり当たらず昼夜の寒暖の差の小さな場所を好んで過ごしているようです。



オオキンカメムシ



アカボシゴマダラ（幼虫。
囲みで示しています）



テングチョウ

② 朽（く）ち木にもぐる

枯れたのち、きのこなどの菌類によってゆっくり分解されている朽ち木には、いつも多くの小さな虫たちが暮らしています。朽ち木を冬ごしにつかう虫たちには、割れたりはがれたりしてできた隙間にもぐりこむ虫と、分解によってやわらかくなったところをほりすすんで部屋をつくる虫とがいます。



クロウリハムシ（樹皮や朽ち木にできたすき間）



キイロスズメバチ（女王。
朽ち木に部屋をつくる）

③ 地中にもぐる

落ち葉のさらに下にも、多くの小さな虫たちが暮らしています。冬ごしのために土にもぐる虫たちは、土をかためて部屋をつくれます。石をひっくり返すと部屋が見つかることもあります。見つけたら元にもどしてあげましょう。



コマルハナバチ（メス。土のなかに部屋をつくる）



ハンミョウ（土のなかに部屋をつくる）

（横須賀市自然・人文博物館 内船俊樹 学芸員）

みなさまからのECOな情報も募集しています。

発行：横須賀市、環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館

発行元：〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課

TEL: 046-822-8327、FAX: 046-821-1523、E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

☆ 横須賀市HPから「ECO通信」で検索。（カラー版でご覧いただけます！）

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議の事業の一環として発行しております。「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

